

## 試験報告書

依頼者 ユニトライク株式会社 殿  
依頼日 2019年12月4日  
試験項目 抗ウイルス性試験

### 供試ウイルス

インフルエンザウイルス influenza virus H3N2A/kitakyuusyuu/159/93  
ディープフリーザーによる長期保存株ウイルス液を凍結融解した後、イオン交換水(微生物用)にて10倍希釈を行い、ウイルス浮遊液として使用した。

### 試験内容

- 1) 対照区 イオン交換水(微生物用)
- 2) 試験区 1 ジーミスト 100 (次亜塩素酸水 100ppm)

### 本試験

試料 1mL に対し、供試ウイルス液 1mL を混和した。  
混和直後と指定時間後に SCDLP ブイヨン培地を 18mL 混和し、細胞接種用の試験液とした。

### ウイルス感染価の測定

ウイルス宿主細胞によるプラークアッセイ法に基づきウイルス感染価を測定し  
接種から 2~3 日後に固定染色を行い、形成されたプラークを数え、  
試験液 20mL 中のウイルス数を対数値に換算し単位を[PFU/sample]とした。

2019年12月20日

**試験報告書**

株式会社 信州セラミックス

〒399-5501  
長野県木曾郡大桑村殿 35-46  
TEL : 0264-55-1221  
FAX : 0264-55-1181

依頼者 ユニトライク株式会社 殿  
品名 ジーミスト 100 (次亜塩素酸水 100ppm)  
試験日 2019年12月17日  
試験項目 抗ウイルス性試験  
ウイルス インフルエンザウイルス influenza virus H3N2A/kitakyuusyu/159/93  
試験方法 液体試料とウイルス液混合後の減少傾向  
MDCK 細胞を用いたプラークアッセイ法  
検体 n=3

試料	ウイルスの粒子数と対数換算		減少率
	接種直後	10分間静置後	
対照区 水 微生物用	8.03 (106000000 個)	7.98 (95333333 個)	-
試験区 1 ジーミスト 100ppm	<2.30 (200 個未満)	<2.30 (200 個未満)	99.99%

減少率は下記計算式(ウイルスの粒子数)にて算出した。

$$\text{減少率} = \frac{\text{【対照区】指定時間後の値} - \text{【試験区】指定時間後の値}}{\text{【対照区】指定時間後の値}} \times 100$$

本試験結果は試料として切り出した一部のものであり、荷口全体の品質を保証するものではありません。

本報告書の全部、または一部の無断転載・転用を固くお断りします。押印のない報告書は正式なものではありません。

作成

